

昭和の三傑

憲法九条は「救国のトリック」だった



国会でも論争の憲法改正問題。戦力不保持と戦争放棄をセットにした憲法九条は実はどこからの発案だったのか？

鈴木貫太郎・幣原喜重郎・吉田茂の戦中戦後の内閣総理大臣を中心に読み解き、国家にとって外交がいかに大事か痛感する一冊。おもしろい！

沖縄県八重瀬町から職員交流として香南市へ来てくれた屋嘉比健作さん。7月の土佐絵山歌舞伎の出演を皮切りに、市内の様々な場所や機会を通じて特技の三線を披露してくれました。多くの市民が沖縄の文化を肌で感じることができました。人柄も相まって、いつの間にかみんなから“うげられる”存在となっていた屋嘉比さん。香南市民との絆と経験を八重瀬町に持ち帰り、今後の交流に繋げてもらえることを期待してします。半年という短い期間でしたが、香南市民に掛け替えのない思い出を残してくれたことに感謝！

市長談話室

14

これからの香南市を描く(3)

香南市の将来のあり方を示す「まちづくりブランドデザイン」。その重点施策に掲げているのが「産業振興計画」と「新庁舎周辺土地利用計画」と「事前防災のための高台移転」です。これらの施策は、社会生活の基盤であるインフラ整備のあり方に関係しています。そこで今月は、将来のあり方としての指標となるインフラ整備の基本計画についてです。

まちづくりの指標となる基本計画

道路や河川、鉄道、公園、水道、ごみ処理施設など、社会生活の基盤となる施設の整備は、生活環境の向上だけでなく、経済の供給力に繋がっていきます。

インフラ整備は旧町村においても行ってきたことですが、合併したメリットを生かすためには、地域の一体性や機能性を高めるための構造を再構築する必要があります。

交通網体系の基本計画

道路の整備と鉄道やバスなどの公共交通は生活に欠かせない施設であり、産業や流通の基礎となるものです。もっと便利で使いやすく、そして安全な交通体系のあり方を考える必要があります。

来年の3月には、高知東部自動車道の香南のいちインターチェンジから香南かがみインターチェンジが開通します。これにより交通の流れは変わってきます。

香南市には歴史的資産や山・川・海の資源を生かした観光施設があります。それらの既存資源を活用しつつ、三宝山などの新たな観光資源の開発や体験型観光プログラムの創出など、工夫次第で魅力的な観光拠点を作ることができます。それぞれの観光資源を道路や空港、鉄道などの交通ネットワークで繋げることができれば、通過型観光から滞在型観光へと転換することもできます。

観光拠点をルートでつなぐ

香南市には歴史的資産や山・川・海の資源を生かした観光施設があります。それらの既存資源を活用しつつ、三宝山などの新たな観光資源の開発や体験型観光プログラムの創出など、工夫次第で魅力的な観光拠点を作ることができます。それぞれの観光資源を道路や空港、鉄道などの交通ネットワークで繋げることができれば、通過型観光から滞在型観光へと転換することもできます。



清藤真司



4月から宮城県女川町へ派遣されている香南市職員、平井彰洋主査から届いた女川町手記を紹介します。(不定期掲載)



女川町では、住宅エリアと公共施設は高台に移転し、沿岸部を観光交流エリアとする復興計画「100年に一度のまちづくり」を進めています。防災対策課 ☎57-8501



▲現地で説明をするという大役を仰せつかりました

宮城県女川町に向向して、早くも半年が過ぎました。町の中心部では1年半後の「駅周辺まちづくり」を目指し、急ピッチで工事が進んでいます。また、今年度から離半島地区というところで被災した宅地の契約会が始まりました。9月末までに集団契約会を2回開催し、約200名と契約しました。そして、被災した浜の計画を立てていきます。漁業集落防災機能強化事業を利用し、漁業者の倉庫や網干場等の敷地を整備します。各地区、漁業者の意見を集約するため懇談会を開催し、年度内には基本設計を仕上げていきます。高台団地では現在、出島地区が造成中で平成26年2月頃完成予定、10月には大石原地区が工事開始予定となっています。



▲女川港のサンマの水揚げ量は本州で第2位なのです！おいしい

ます。今年度中には6地区で工事を着工、来年度には残りの地区を着工するように進めています。どの地区も、用地で相続や抵当権が設定されていますので、一つひとつ解決して買取、または開発の施工同意書を地権者からもらって工事に入ります。目に見えるような形で復興が進んでいなかった離半島地区が、今年度から工事着工という形で復興が進んでいきます。懇談会では、離半島のすべての地区を回りましたが、どの地区でもやはり一刻でも早い復興を望んでいます。それに少しでも答えられるように頑張りたいと思います。

石油(灯油)を使った暖房機器を使用する前に



今年も寒い季節がやってきました。暖房機器を使用することも多くなりますが、使用方法を間違えると、火事や思わぬ事故につながることもあります。十分にご注意ください。

チェック

- 機器が正常に機能するか確かめて
- 変な音、変な臭いが出たり、異常に熱くなるのは危険信号です
- 給油は必ず火を消してから
- 洗濯物やカーテンなどの近くで使用しない
- 燃えやすいものやスプレー缶などを近くに置かない
- 劣化した灯油は使用しない
- 定期的な換気を行うこと